

信頼回復に向けて

適正な選挙事務に向けて

9月27日に第5回甲賀市選挙事務不適正処理再発防止委員会(以下「再発防止委員会」といいます。)が開催されました。

今回の再発防止委員会では、次の3つの事項について話し合われました。

① 不適正処理の検証について

昨年10月の衆議院議員総選挙の開票事務で発生した不適正処理の検証について、事務局から現在の進捗状況の説明が行われました。

② 複数票への対応について

今後実施される複数種類の票の選挙(参議院・衆議院議員選挙・複数選挙の同日選挙等)における開票所や投票事務従事者に関する次の対応策について意見が交わされました。

主な対応策

■開票所について

●複数票の選挙時には、全ての投票箱を収納できる十分な広さのある甲南体育館を開票所の候補と

する。

●開票所は票の種別ごとに区分けし、それぞれの票が移動する動線を明確化し、票の管理を徹底する。

■事務従事者について

●長時間にわたる業務は、集中力の低下や当日の打合せ不足が起これ、ミス発生リスクが高まるため、投票事務従事者と開票事務従事者を兼務させない。

●選挙と台風等の災害とが重なった際に混乱のないよう、あらかじめ投票事務従事者のうち防災対応にあたる職員について明確に定め

ておく。
●複数選挙の開票を行う際は、全体の総括指揮の他に各選挙の責任者を置くことで個々の選挙の管理を徹底する。

③ 最終報告について

再発防止委員会から選挙管理委

員会へ提出する最終報告である答申(選挙事務に係る不適正処理に関する検証及び再発防止策について)の内容について意見が交わされました。
※現状の最終報告書案や再発防止委員会で使用したその他の資料については、市ホームページにも掲載しています。

再発防止委員会での主な意見

●開票所の問題については、やはり狭いというのが致命的であった。今後、複数票の選挙の、開票を現在より大きな場所で行うということとは効果的である。

●複数票の選挙の時に、全ての票を同時進行で開票していくと、経験や知識のある従事者が偏る恐れがある。今後どれだけ選挙のことを熟知した職員を育てていけるかが大きな課題だ。

●選挙事務が行えないほどの大きな災害の発生についても想定しておくべきだ。また、その想定については災害の有無にかかわらず具体的に人をあてはめておくことで従事者も心構えができるので混乱することがない。

●来年度に執行される参議院議員選挙は夏に行われる。変更を検討している開票所にエアコン設備がないようであれば、熱中症対策を十分に行う必要がある。投票用紙が汗で濡れると計数機などの故障にもつながるので、タオル等は用意をしておくこと。

●選挙事務は準備が全てである。場当たり的な行動をすると絶対にミスにつながる。入念な準備とコミュニケーションを実施すること。

●今後の選挙における投票箱の管理については、事務のミスだけでなく不測の事態にも対処できるチェック体制をとることが大切だ。

●最終報告については、皆さんが読んで共通の認識を持てるような分かりやすい書き方を心掛けること。
今後、実施される再発防止委員会では、引き続き本件に関する検証が行われるとともに、再発防止策の最終確認を実施するなど、答申の完成に向けての議論が行われます。

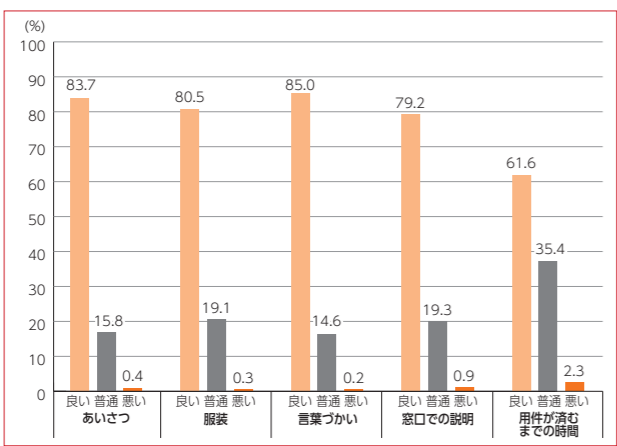
●問い合わせ
選挙管理委員会事務局
6992260 634086

職員の意識改革に向けて

来庁者アンケートへの協力ありがとうございました

より良い市民サービスの向上に努めていくため、職員の窓口対応についてのアンケートを実施したところ、延べ5,337人から貴重なご意見をいただきました。

集計結果(5月～9月)



寄せられた主なご意見

- 窓口での待ち時間が長い。
- 早口で説明をされるので聞き取りやすいようゆっくりと話してほしい。
- 職員同士での私語が多く待ち時間に聞こえてくる。
- 窓口対応が丁寧な職員とそうでない職員がありばらつきがある。
- 窓口で職員がもっと早く出てきてほしい。
- どの窓口かわからないことがあり、職員からもっと積極的に声を掛けてほしい。
- ※スペースに限りがあるため改善が必要と思われるもののみ一部掲載しています。
- 皆さんからいただいた多くの貴重なご意見を職員全員が真摯に受け止めて、今後もあいさつ、窓口対応の改善に努めていきます。
- また、この結果を各職場での接遇研修などに活用させていただきます。

地域のコミュニティづくり推進を

平成30年度コミュニティ助成事業(一般コミュニティ助成)で採択を受けた1団体を紹介します。今後、地域活動の充実のため、左記の備品を活用されます。

※コミュニティ助成事業は、住民が行う区・自治会活動の支援と宝くじの普及広報を目的に、宝くじの収益金の一部を財源として区・自治会等に助成されるものです。

■自治会大原中区

助成金額 170万円

宮太鼓ケヤキ材9寸7分・4分修理 大革(生地、革径23cm)修理、木製ラック1台、PAアンプ1台、ワイヤレスチューナー1台、増設ユニット2台、ワイヤレスアンテナ2台、ワイヤレスマイク4機、CDプレーヤー1台、床上型マイクロホンスタンド1台、卓上型マイクロホンスタンド1台、ポータブルワイヤレスアンプ1台、増設チューナーユニット2台、ホーンスピーカー1台、スピーカースタンド1台、スピーカー接続コード1本、冷蔵庫1台、掃除機1台、テント1張



▲宮太鼓と大革



●問い合わせ 地域コミュニティ推進課

6992113 634554

地域コミュニティ推進係